

財団法人日本サッカー協会
会長 川淵 三郎 様

イビチャ・オシム日本代表監督就任に関する質問と要望

昨夏の日本代表監督交代について、ジェフユナイテッド市原・千葉サポーター（以下「ジェフサポーター」という。）として、日本サッカー協会及び川淵会長に対し感じた疑問点と要望を提出するものであります。

川淵会長及び日本サッカー協会に対する質問

1. 去る平成18年11月23日にジェフユナイテッド市原・千葉（以下「クラブ」という。）より、日本サッカー協会（以下「協会」という。）からクラブに宛てられた平成18年7月3日付けの謝罪文を拝見させて頂いたが、これは川淵会長の失言に対する謝罪文では無いのか。
2. その後実際に行われた「引き抜き」行為に対する謝罪は一切行われておらず、またどの機関からどのような働きかけをされ、クラブに対し文書を発行したのか。
3. 「補償金」として支払われたとされている金銭は、どのような目的で支払われたのか。
4. また「マスコミが言うところの金額」（11月23日クラブ側の発言より）という「補償金」は、どのような基準をもって算出されたのか。
5. 川淵会長はJリーグチェアマン在任中、Jリーグ所属クラブが契約している監督に対して契約期間中の交渉を禁ずるルールを定めたにも関わらず、シーズン途中での「引き抜き」を推し進めるといふ川淵会長自らの信念を曲げたこの行為について、ご自身の見解は如何か。
6. また、この件に関して何らかのペナルティが課せられないのは何故か。
7. 2006ワールドカップの結果とジーコ前監督の査定について総括されているのか。また、協会がどのようなビジョンを持って今回の監督交代に及んだのか。

ジェフサポーターからの要望

1. イビチャ・オシム前監督を日本代表に引き抜いた一連の件に関して、協会と川淵会長からジェフサポーターに対し、正式に謝罪を行って欲しい。具体的には、謝罪文を協会のオフィシャル媒体に掲載すると共に、我々にも川淵会長自ら届けて頂きたい。
2. 第三者が協会内部を監査する機関を設け、健全な運営を目指して頂きたい。
3. 再発防止の為にルール策定をして頂きたい。
4. 川淵会長におかれては、記者会見という公の場での「失言」と、その後に自ら認めた「契約期間中の交渉」というルール違反を犯した件に関して、目に見える形での責任を取って頂きたい。責任の所在を明らかにする事によって、一連の騒動に決着がつくものと考えている。
5. この文書への回答期限は平成19年3月4日とする。

S.C. HALLELUJAH ・ ジェフを応援する会 ・ 市原粋犬会 ・ BRIGATE' GRIDA-LE
YELLOW DEVIL'S ・ NAVY ・ GIALLOCONE FAMIGRIA ・ NEO ・ 犬協
ジェフサポーター有志一同